



2020-2021年度R.I.テーマ
ロータリーは機会の扉を開く

第2879回 例会
2021. 6. 10

週報 No.2171
発行 2021年 6月 17日

2020-2021年度
会長 宇多村海児
幹事 深澤 圭司
副会長 斎藤 修弘
副幹事 長沼 大策
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 坂 佳三

ビジター
国際ロータリー第2770地区
第5G ガバナー補佐
宮澤英修様

第5G ガバナー補佐幹事
津田ひろみ様

ゲスト
仏像写真家 利根川健介様

行事予定
6月24日 最終例会(時間変更)
7月 1日 新旧会長・幹事引継式
新任役員挨拶、
新年度事業計画発表
7月 8日 卓話 埼玉中央青年会議所
理事長 星野健太様
7月15日 前年度事業報告
前年度決算報告
7月22日 定款の規定により休会
7月29日 納涼例会 会場:信濃路
(例会場・時間変更)

第5G ガバナー補佐 宮澤英修様

先日のIMは大勢の皆様にご参加
いただきありがとうございました。
2回の延期の後、おかげさまで実
施することができました。ガバナ
ー補佐は今月で終わりますが、またお訪ねした際にはあたたかくお迎
えください。本当に一年間ありがとうございました。



第5Gガバナー補佐 宮澤英修様

会長あいさつ

こんにちは。本日も暑い中多く
の会員の皆様にお越しいただきあ
りがとうございます。私は正直言
ってコロナはこんなに長く続くこ
とは、続いたとしても最後の方は収
束の目途もたつて、またかつての
日常が全部とは言わないまでも戻
ってきているだろうと予想していま
したが、然に非ずでして、やりたい
と思っていたことができたこともあり
ますし、できなかったことも数多
くあるという一年でした。やりたい
と欲していたことができなかったこ
との一つに角打ち事業があります。
須田商店さんで角打ちの親睦事業
を1~3月のどこかでできるとい
いながら考えていました。とい
いますのも、第1回は冷たいお酒
を飲んで楽しもうという考え、そ
して第2回は温度を入れてお酒を
燗にしてどれだけ変化の違いがあ
るか楽しむことです。私はお酒が
大好きというのをご存じの会員
の方がいらっしゃると思いますが、
その通りでたいへんお酒が好き
でございます。この一年はどこか
に呑みに行ったりなどなかなか
できない一年でございましたが、
どうやら第2回も斎藤修弘年度に
持ち越しとなりそうです。



2020-2021年度 宇多村海児会長

私はこのところ命や愛の問題を
テーマにお話しをしたことがあり
ますが、「命の水」、それはお酒の
ことでございます。本日はお酒に
ついて少しだけお話しさせていただきます。
私はお酒と名の付くものはほと
んど呑めます。その中でも好き
なのは日本酒です。当然、日本酒
が好きなものでいろいろなところ
にお酒、世に出していないのも
特別にお勧めのものがあれば須
田直前に聞いて折々季節に
応じて呑み込めるのが多いので
すが、いま地酒や、精進酒で
造られたお酒はどうしても冷
蔵して呑むことが多いです。と
ころが、もの本を読みますと、
現在はそうであっても、例えば江
戸

Rotary ROTARY CLUB OF AGEO

時代のお酒の話になりますと、本来、日本酒は燗をつけて呑むのが当たり前の作法といいますが、呑み方の方でございます。「冷や」と言うとき現代の日本人は「冷たい」と想像しますが、「冷や」というのは現在の常温のことで、冷やで呑むというのはあまり行儀のいい呑み方ではなかったらしいです。そのような呑み方をするのは暇も作法も持ちあわせていない、たとえば渡世人といった種類の人たちだったようです。そんなことをもの本で読んだ後、それを裏付けるかのように、以前もご紹介しました幕末の小説の名作、司馬遼太郎作の『花神(かしん)』の中で桂小五郎が薩長同盟が不調に終わって家に戻ってくる時に、当時愛人だった幾松が待っているのですが、幾松に対してカッカしている桂小五郎が酒を要求するんですね。酒を持ってこいと。その後で言うのが「冷やでいいから持って来い」と。そして片口の茶碗で飲み干すという描写がございます。そんなこともありまして、私もそれまでは冷たいお酒一辺倒だったのですが、温度を変えて、常温でも比較的温かいところに置いておく、実験と言っても大袈裟ですが、温度の違いによって味の違いがどう変わってくるかということを楽しもうとしたこともございます。いずれにしても、日本酒は温めて呑むのがいいのかなあと最近思ったりします。温度と言え日本酒だけに限りません。お酒と温度を、ちよっと楽しんでみたいということで、今年度の最後の例会には、須田商店選りすぐりのお酒をご用意する予定です。本当に美味しいお酒を呑めば、みんなしばらく黙ってしまうということで、それが、とりもなおさず大声をあげたりというようなことがないようになるのかなと思っております。「刑事コロンボ」、50歳代以上の方にはご存じの方もいらっしゃると思います。いちばん最初に放映されたのが1970年前半、初期の名作のひとつに「別れのワイン」という回がございます。事件の解決のカギになるのが、ワインの温度・湿度、その管理の不行き届きです。ご興味がある方は私、DVDを持っていますのでお申しつけただければお渡しします。ということで、別れではないですけども、最後の例会は私の感謝のワインとなればいいなというふうに思っております。その節は須田直前にお世話になります。よろしくお願いたします。会長あいさつは以上になります。本日もどうぞよろしくお願いたします。

幹事報告

長沼 大策 副幹事

◇2021年ガバナーナイト配信のご案内が届いています。YouTubeで6月12日に配信になります。
◇本日配布されたガバナー月信vol.12、6月号、P19は地区内のクラブの紹介ということで、当クラブの最大の特徴である「野球部」のことが取材されて掲載されています。ぜひ一読ください。

結婚・誕生祝い

結婚記念日 おめでとうございます!

斎藤 修弘 会員

花束を6月2日の朝、いただきました。毎年ありがとうございます。今年で結婚6周年を迎えました。最近コロナで家にいることが多く、あまり外に出歩かなくなったので怒られることも少なくなりました。また、最近怒られてもすぐに謝るようにして、夫婦仲は年々よくなっています。



樋口 雅之 会員

6月5日で結婚20周年を迎えました。お互いの思いやり、忍耐、適度な距離感で続いてきたのかなと思います。娘は大学に入学して剣道部に入り毎日稽古で、息子は高校に進学し野球部に入り毎日練習と2人とも家にいないことが多く、夫婦2人の時間が多くなりそうですがこれからもお互い忍耐で続けていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



関口 良康 会員

今日、結婚21周年を迎えました。たまたま結婚を考えている男性スタッフがいて、「結婚って、いいですね?」と訊かれ、「うーん」としか答えられませんでした。しっかりと結婚のいいところを答えられるように今後がんばりたいと思っております。



例会主題

卓話者紹介

村岡 武仁 会員

本日の卓話者、仏像写真家 利根川健介氏をご紹介します。利根川氏は秋山庄太郎門下18人衆の一人として、原点は山岳写真を振り出しに、商業写真他、様々な活動をされてきました後、照明技術を駆使され仏像の撮影に35年余。現在、埼玉県美術家協会が運営、審査員をされております。他、大宮そごうで4回、秩父・矢野百貨店と大宮氷川町の杜文化館で各2回、仏像写真展を開催されております。私とのお縁は、東北震災の後、遍照院で毎年チャリティコンサート(お月見ライブ)を開催してきましたが、遍照院の仏像は有名な仏師・松本明慶氏の仏像が安置されていることから偶然お会いして以来のおつきあいで、仏像に関するご造詣が深く、いろいろ興味あるお話を伺わせて頂けるのではないかとご紹介させていただいた次第でございます。



佛像との語らい

仏像写真家 利根川 健介 様

今日ロータリアンの皆さんの前でお話しをさせていただくという機会をいただき誠にありがとうございます。
私が撮影した写真を順番に解説いたします。
写真①「梵鐘に鑄造された観音様」これは秩父の音楽寺というお寺にあるものです。歴史的にも時代に翻弄された梵鐘なんです。明治17年、自由民権運動が起こったのと秩父の農民、困民党が一体になってこの梵鐘が乱打されました。農民3千人が蜂起して警察や軍へなだれ込み、税金の減免などんでもない要求を出しました。これが皆さんご存じの秩父事件です。秩父事件に使われた梵鐘です。
写真②「愛染明王(あいぜんみょうおう)」三眼あり、手が六本あります。愛に染めると書きますから、愛がなければパワーが生まれません。間違えると身を滅ぼしてしまう、諸刃の剣の愛染明王と言われています。



① 梵鐘に鑄造された観音 ② 愛染明王 ③ 羅漢 ④ 慈母観音 ⑤ 不動明王 ⑥ 地藏菩薩 ⑦ 掛け仏 ⑧ 阿修羅



⑨ 十一面観音 ⑩ 聖観音 ⑪ 役小角 ⑫ 毘沙門天

写真③「羅漢(らかん)」歴史的な価値というよりも作り方が貴重です。左側の顔はありません。
写真④「慈母観音」秩父の有名な石仏です。札所4番、金昌寺に安置されています。秩父の札所は元禄時代に大勢の巡礼が来られたそうです。写真がなかった時代、石工が、依頼主から亡くなった方の顔つきを聞いて彫り、石はみな顔つきが違っています。埼玉県指定有形民俗文化財。
写真⑤「不動明王」真言宗の大事な仏像です。右手に剣、左手に縄を持っています。真面目に仏教の話を聞かないといけないよということで、恐ろしい顔をしているのだそうです。
写真⑥「地藏菩薩」我々が生活している身近なところにて、助けてくださる仏さまです。
写真⑦「掛け仏」神仏習合だった時代、神社に飾ってあった仏様です。現存数は少なく貴重なものです。
写真⑧「阿修羅」京都から東京国立博物館にもつてくるとき、魂を抜く(抜魂=ばっこん)という儀式を行い、美術品として移動し撮影しました。

写真⑨「十一面観音」本体の面の上に十個の仏さまの顔が並んでいます。誰をも見落とさないように、どんな人も救いますように、ということで十体の顔をつけているのだそうです。真裏には大笑面といって笑っている顔が彫られています。
写真⑩「聖観音」第二次世界大戦後、秩父に疎開していた仏師に頼んで、悪条件の中でやっとできあがったものだそうです。
写真⑪「役小角(えんのおづぬ)」山伏の元祖のお姿を彫ったものです。
写真⑫「毘沙門天」仏教における天部の仏神で持国天、増長天、広目天と共に四天王の一尊に数えられる武神=多聞天であり、一体だけで飾られると毘沙門天となります。
写真⑬「十一面千手観音」上尾市にある仏師・松本明慶氏による作品です。ご静聴、ありがとうございました。



スマイル

宇多村会長/深澤幹事/斎藤修弘副会長/
長沼副幹事/武重会員/村岡会員/
尾花会員/大木保司会員/島村会員/
齋藤博重会員/藤村会員/齋藤雅雄会員/
丹井会員/樋口会員/門崎会員/
須田会員/大木崇寛会員/奥川会員/
関口良康会員/山崎会員

出席率	
会員数	38
出席数	23
欠席数	15
	60.53%

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 東武バネケットホール4F(ポリアス) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

